

北薩感染症情報

2023年第27週(7月3日～7月9日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

E-メール kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中 ○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル			川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始 基準値	終息 基準値	注意報 基準値	前週 報告数 (人)	今週 報告数 (人)	定点 報告数	前週 からの 増減	警報 注意報	前週 報告数 (人)	今週 報告数 (人)	定点 報告数	前週 からの 増減	警報 注意報
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	355	382	54.57	↗	◎	12	12	2.40	→	—
	COVID-19	—	—	—	62	71	10.14	↗	—	17	53	10.60	↗	—
小児科定点	RS	—	—	—	5	7	1.75	↗	—	50	43	14.33	↓	—
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	—	4	—	—	↓	—	2	1	0.33	↓	—
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—	5	—	—	↓	—	6	3	1.00	↓	—
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	—	5	11	2.75	↗	—	5	1	0.33	↓	—
	水痘	2.0	1.0	1.0	—	3	0.75	↗	—	—	—	—	→	—
	手足口病	5.0	2.0	—	14	11	2.75	↓	—	—	2	0.67	↗	—
	伝染性紅斑	2.0	1.0	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	突発性発疹	—	—	—	—	5	1.25	↗	—	1	1	0.33	→	—
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—	72	88	22.00	↗	◎	5	14	4.67	↗	—
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	—	—	—	—	→	—	△	△	△	△	△
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	—	3	3	3.00	→	—	△	△	△	△	△
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
インフルエンザ 入院報告	—	—	—	—	2	—	↗	—	—	—	△	→	—	
報告数合計		—	—	—	525	583	△	↗	△	98	130	△	↗	△
<p><注意報・警報レベル></p> <ul style="list-style-type: none"> ・川薩保健所管内 インフルエンザ(警報レベル), ヘルパンギーナ(警報レベル) ・出水保健所管内 なし <p><全数報告></p> <ul style="list-style-type: none"> ・川薩保健所管内 追加 梅毒1例(第26週) ・出水保健所管内 追加 梅毒2例(第22週, 第25週) <p><インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・川薩保健所管内 学級閉鎖: 薩摩川内市1件 ・出水保健所管内 なし 														

定点種別	疾病	警報/終息基準値	注意報基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				18W	19W	20W	21W	22W	23W	24W	25W	26W	27W
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	0.29	2.57	0.86	1.57	1.00	3.29	12.29	38.14	50.71	54.57
	COVID-19	—	—	—	2.29	2.29	4.43	3.43	3.71	6.71	6.00	8.86	10.14
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	1.50	0.75	0.50	1.75	0.50	2.50	3.50	2.00	1.25	1.75
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	—	1.00	0.50	1.75	1.25	1.25	1.25	0.25	1.00	—
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	0.75	0.25	0.50	0.25	—	—	—	0.75	1.25	—
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	1.75	5.75	5.50	1.75	1.75	4.50	2.75	3.00	1.25	2.75
	水痘	2.00/1.00	1.00	0.25	—	—	—	—	—	—	—	—	0.75
	手足口病	5.00/2.00	—	—	—	0.25	0.75	2.50	0.50	0.50	2.25	3.50	2.75
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	0.25	—	—
	突発性発疹	—	—	0.50	0.75	0.25	0.50	0.75	0.50	1.00	0.50	—	1.25
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	0.50	0.75	3.00	5.00	4.00	8.50	8.75	23.75	18.00	22.00
	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	流行性角結膜炎	8.00/4.00	—	4.00	5.00	3.00	1.00	—	—	2.00	1.00	3.00	3.00
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

定点種別	疾病	警報/終息基準値	注意報基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				18W	19W	20W	21W	22W	23W	24W	25W	26W	27W
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	—	0.40	0.20	—	0.60	2.00	3.00	3.20	2.40	2.40
	COVID-19	—	—	—	1.40	4.00	3.60	3.60	6.40	7.00	5.80	3.40	10.60
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	1.33	1.67	2.00	4.33	6.00	9.33	7.67	13.67	16.67	14.33
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	0.67	1.33	2.33	0.67	4.33	1.67	1.67	1.33	0.67	0.33
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	0.33	2.00	3.67	1.67	2.33	—	2.67	1.33	2.00	1.00
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	2.67	0.33	1.33	0.67	1.00	1.33	0.33	0.33	1.67	0.33
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	0.33	—	—	—	—	—	—	—	—
	手足口病	5.00/2.00	—	—	—	1.00	0.33	—	—	0.67	0.33	—	0.67
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	突発性発疹	—	—	0.67	0.67	0.67	—	1.00	—	—	0.33	0.33	0.33
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	3.00	1.67	1.00	—	—	1.67	0.67	1.67	1.67	4.67
	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

★第 27 週に関して、川薩においてインフルエンザとヘルパンギーナの定点報告数が減少しませんでしたので、引き続き注意が必要です。インフルエンザと新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖が薩摩川内市にて1件ありました。学年閉鎖は川薩・出水ともにありませんでした。夏休みを元気に過ごすために、こまめな手洗い・うがいなど、感染対策に努めましょう。

★新型コロナウイルスに関する参考資料
 新型コロナウイルス感染症 「診療の手引き」
<https://www.mhlw.go.jp/content/000936655.pdf>

新型コロナウイルス感染症 「病原体検査の指針」
<https://www.mhlw.go.jp/content/000914399.pdf>

新型コロナウイルス感染症 「罹患後症状のマネジメント」
<https://www.mhlw.go.jp/content/000952747.pdf>

6/18～6/24はハンセン病問題を
正しく理解する週間でした

3年ぶりに開催！！！！

実際に参加した親子の
感想として、楽しかった、
また参加したいなどが
ありました。

親子で療養所を訪ねてみませんか

県では、親子でハンセン病療養所訪問を希望される方々を募集します。

鹿児島県内には、2か所のハンセン病療養所があります。
ハンセン病は治っているにも関わらず、今もなお、多くの方々が療養所での
生活を余儀なくされており、県内の入所者の平均年齢は89歳を超えています。
入所されている方との交流をとおして、長い間の誤った隔離政策による人権侵害
の体験談から、偏見・差別のない社会の大切さや生き方を学ぶ貴重な機会です。

○訪問日程・対象及び募集期間

	星塚敬愛園（鹿屋市星原町4204番地）	
実施日	令和5年8月8日（火）	
募集対象	小・中学生、高校生とその保護者 小・中学校等の教員、市町村職員	20組程度 若干名 } 先着50名まで
日程概要	8:15 県庁集合 10:25 星塚敬愛園着 10:30～14:50 敬愛園内で見学・交流 納骨堂にて献花・焼香など 15:15 星塚敬愛園発 17:15 県庁解散	
募集期間	令和5年6月12日（月）～7月14日（金）	

- ※ 現地集合、現地解散も可能です。
- ※ 参加料は無料です。（集合場所までの交通費は自己負担）
- ※ 県庁からは、貸切バスで移動します。鴨池・垂水フェリーを使います。
- ※ 入所者の方々との交流は、会議室等でグループ形式での交流になる場合もありますのでご了承ください。
- ※ 昼食は各自でご準備ください。

○申込方法

電話、FAX、Eメール、ハガキのいずれかにより、住所、参加者全員の氏名（ふりがな）、年齢、職業（又は学年）、電話番号（自宅・携帯等）、今までの参加経験の有無、集合場所等を記入又は連絡して、申し込んでください。（裏面申込書参照）

○申込先

鹿児島県庁くらし保健福祉部健康増進課
ハンセン病問題担当 上村（かみむら）

- ・住所 〒890-8577
鹿児島市鴨池新町10-1
- ・電話 099-286-2720（直通）
- ・FAX 099-286-5556
- ・Eメール kansensy@pref.kagoshima.lg.jp

※決定は、後日（7月下旬頃）文書等で連絡します。

・差別をしたらダメだから、おうちの人と考えようと思った。
いろんな人に、ハンセン病のこと差別や偏見があったことを伝えたい。
・差別や偏見の解消のためにはまずは正しい知識を持つこと、人に対する思いやりの心を持つこと親子で伝えたい。
・療養所をぜひ訪ねてみたい。
IR4年度親子療養所交流会(オンライン)参加者の感想



【「ハンセン病問題を正しく理解する週間」についてお知らせ】

令和5年6月18日（日）～24日（土）

なぜ、ハンセン病であった方々やその御家族が偏見・差別を受けてきたのか、ハンセン病やハンセン病問題の歴史について正しく理解することが、問題解決の第一歩です。

※県内4カ所で展示をします。詳細は県のホームページをご覧ください。

昨年のオンライン交流でも
実際に訪問したいという声
が寄せられています。

先着順です！

※FAXで申込まれる場合は、下記番号に送付してください。(送信票不要)

FAX：099-286-5556 健康増進課 上村 行き

令和5年度 親子療養所訪問 参加申込書

申込月日	令和5年 月 日		
住所	(〒 -)		
電話	(自宅・携帯・職場) ※ 日中、連絡がとれる番号を記載してください。		
参加者	氏名 (ふりがな)	年齢	学年又は職業
過去の参加経験	有・無 → 「有」の場合 今回で()回目		
集合場所 および 駐車場利用 該当部分に ○をつけて ください。	() 鹿児島県庁集合 駐車場利用希望 (有・無) (↓有の場合、駐車場利用の車のナンバーを記入してください) → 登録ナンバー() ※ 記入例:鹿児島500 あ 1234		
	() 星塚敬愛園集合(現地集合) 駐車場利用希望 (有・無) (↓有の場合、駐車場利用の車のナンバーを記入してください) → 登録ナンバー() ※ 記入例:鹿児島500 あ 1234		

※ 自家用車等の登録ナンバーについては、駐車場での無料処理申請等に利用します。
 ※ ふりがな・年齢等については、傷害保険の加入に必要ですので、必ず全員記入してください。
 (参加当日の年齢)

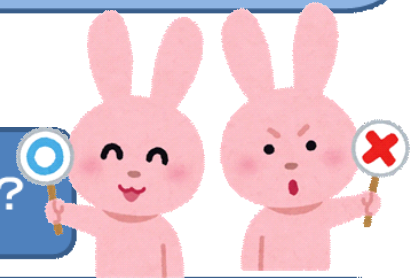
ハンセン病問題について正しく理解しましょう



ハンセン病元患者様への偏見や差別はハンセン病について正しい理解がされていなかったために起こってしまいました。これはハンセン病元患者様とその御家族の人生を大きく変えてしまった出来事であり、二度とあってはなりません。故郷や家族との絆を断たれたり、今もなお残る根強い差別や偏見に苦しむ等、現在も問題が残されています。ハンセン病を正しく理解する週間を機に、ハンセン病について学び、正しく理解しましょう。

保健所では、ハンセン病のことや、ハンセン病元患者様の話、問題解決についてなどが収録されたDVDの貸し出しを行っています。ご希望の方はお近くの保健所までお問い合わせください。

“ハンセン病問題を正しく理解する週間”とは？



この週間はハンセン病に対する正しい知識の普及啓発を図り、偏見や差別の解消に努めるために設定されました。

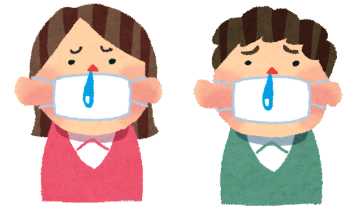
平成8年のらい予防法廃止とハンセン病問題対策協議会において「ハンセン病に関する正しい知識の普及に努め、偏見や差別の解消に一層の努力をすること」「患者様・元患者様の名誉回復についての措置の実施について最大限努めること」との意見があげられました。それを受け、広報活動や講演会やシンポジウムの開催、ハンセン病療養所の見学・訪問等の企画を、国全体で励み、充実を図っています。

要点

- 感染力は極めて弱いので感染しにくい上、発病することはまれである。
- 仮に発病した場合であっても早期発見と早期治療により、短期間で治癒する病気である。
- ハンセン病はノルウェーのアルマウエル・ハンセン医師により発見されたらい菌によって引き起こされる慢性の細菌性感染症の一種であるが、人に対して毒性を持たない。
- ハンセン病は遺伝しない。
- 療養所に入所されている方々は、ハンセン病は既に治っているが、高齢化や後遺症等によって、療養所での生活を余儀なくされている。



インフルエンザに警報が 出ています!!!



インフルエンザの主な症状

- ・38℃以上の発熱・頭痛・関節痛・筋肉痛・のどの痛み・鼻汁・咳
- ・急性脳症(お子様)・肺炎(高齢の方, 免疫力の低い方)

感染の仕方は?



咳



くしゃみ



会話



握手



ドアノブやスイッチ

- ① **飛沫感染**... 飛沫とともに放出されたウイルスが、鼻やのどの粘膜に付着したり吸い込まれたりして感染する。
- ② **接触感染**... くしゃみを手で押さえた後や鼻水を手でぬぐった後に、触れた場所にウイルスが付着し、その付着したウイルスに触れた手で鼻や口に触れることにより感染する。



インフルエンザ予防!



・飛沫感染対策としての「咳エチケット」

*「咳エチケット」

- ① 普段から皆が咳やくしゃみを他の人に向けて発しないこと
- ② 咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること
- ③ 手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと

・外出後の手洗い等

アルコール製剤による手指衛生も効果◎

・適度な湿度の保持

室内は加湿器などを使って適切な湿度(50~60%)を保つ◎

・十分な休養とバランスのとれた栄養摂取

・人混みや繁華街への外出を控える



インフルエンザにかかったら...

- ・具合が悪い場合は早めの受診を。
- ・安静にして、休養を。
特に、睡眠を十分にとることが大切。
- ・十分な水分補給。
お茶でもスープでも飲みたいものでOK。
- ・咳やくしゃみ等の症状のある場合は、感染拡大防止で不織布製マスクを着用
- ・人混みや繁華街への外出を控える。
無理をして学校や職場等に行かない。



ヘルパンギーナ(夏風邪) にご注意ください!

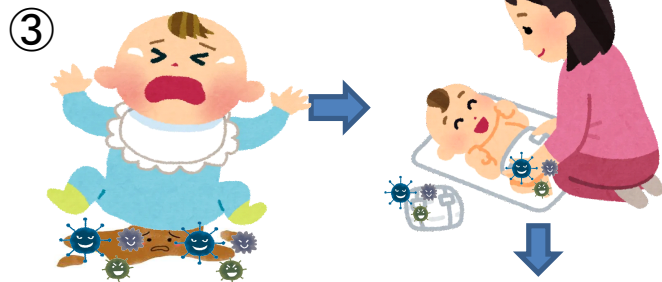


ヘルパンギーナとは...?

ヘルパンギーナとは、春から夏にかけて流行する風邪、いわゆる夏風邪の一つです。症状としては、高熱や咽頭痛、咽頭には粘膜しんや水疱がみられます。熱性けいれんや髄膜炎を合併することもあり、頭痛や嘔吐を認めた場合は注意が必要です。

コクサッキーウイルスが主な原因ですが、他にも原因となるウイルスが複数あるため、一度かかったとしても何度でも罹患する可能性があります。一度感染しても油断せず、感染対策を心がけましょう。

どうやって感染するの...?



- ①感染者の咳やくしゃみなどで出た飛沫を吸い込む(飛沫感染)
- ②感染者の水疱の内容物や、鼻水などの粘液を目、鼻、口に付ける(経口感染)
- ③感染者の嘔吐物や排泄物を処理した手で目や鼻、口などの粘膜に触れる(接触感染)

感染しないようにするには...?

- ・こまめに適切な手洗いをする。
- ・おむつ交換は使い捨ての手袋を着用する。
- ・咳エチケット(マスクの着用など)で飛沫防止をする。

海外渡航歴のない方でも エムポックス感染の可能性あり！



エムポックスとは...？

エムポックス(旧:サル痘)は、感染症法上4類感染症に指定されている、ウイルスによる感染症です。世界各国で確認されており、男性の感染報告が目立ちますが、女性や小児の報告もされています。

潜伏期間は6～13日(最大5～21日)です。患者と長時間、近距離で対面することでの飛沫感染もありますが、新型コロナウイルス感染症と異なり、人から人への感染は容易には起こりません。

どうやって感染するの...？



①感染した動物との接触
(咬傷, 皮膚・体液・血液との接触)



②感染した人との接触
(皮膚・体液・血液との接触, 性的接触, 飛沫感染)

症状は...

- ・発熱
- ・発疹(水ぶくれ)
(特に顔・口・手足・肛門・性器・尻)
- ・リンパ節の腫れ
- ・頭痛



疑う症状があったら...

- ・最寄りもしくはかかりつけの医療機関に電話で相談しましょう
- ・マスクを着用しましょう
- ・発疹部をガーゼなどで覆いましょう



※多くの場合, 2～4週間で自然治癒します。

※過度に心配することなく, 医療機関に相談しましょう。

※特定の集団や感染者, 感染の疑いのある者に対する差別や偏見は
人権侵害につながります。